



西郷隆盛

寶永元年
 申七月廿一日 醫政正
 萬連年記録帳
 九郎豊後國海部郡枕狹海崎村
 小野元祖 松崎五九郎門前

萬連年記録帳 (四)

編集 御手洗義夫

明治八年乙亥 新曆四月十六日、旧曆三月十二日記ス。

当廿五小区、十八小区ト区别有之処、十八小区ノ内、風無浦ヨリ笹良目浦迄、当廿五小区ニ加入ニ相成候。

加記載ス

明治八年乙亥 新曆四月十六日、旧曆三月十二日

正四ツ時後ヨリ至急雨天ニ相成、雷鳴大風ひよふ降出し誠ニ不順ノ事、ふ審ノ節也。

九ツ時ヨリ早速晴天ニ成ル。

明治八年亥 旧三月廿五日、四月三十日

一、諸藩共旧藩札御引揚ニ相成候。

後是なし、円金円札而已ニ相成候也。

尤、此節紙幣金札、御藩札御引上ケニ相成、通用停止ノ事、是ヨリ銅銭・半銭・老銭・二銭発行ノ事。

去ル慶應辰年ヨリ発行候金札、尤、紙幣通用ノ処、

明治八年六月六日限り、尤、旧五月一日限り、御引

上ケニ相成、通用停止相成候事。

旧明治八年五月三日記ス、

右、明治八年六月六日限りノ処、下民迷惑もあるやト、又々九年五月迄延期ニ相成候。尤、五兩・十兩之ニ札而已御引替へニ相成候。

明治八年旧六月

大日でり

明治八年春ヨリ

一諸縣一円、再調べ地券御改ニ相成候。俟見田畑高下、上中下高改、畝ト改、反別代金御償ニ相成候。此節、用務所、区長佐久間仲 戸長夏目克示

明治八年夏

廿五小区内百枝村ヨリ風無浦迄、支配用務所戸穴村 かり屋の鼻ニ新規ニ建立ニ相成候。

明治九年子 旧三月廿八日、新四月廿二日夕

大洪水也。翌日天氣ニ相成候。

明治九年子 旧九月

肥後国藩士族

肥後諸陣屋ト戦争ニ相成候。官軍多分討死御座候。

同旧十二月ヨリ

右熊本陣屋工薩州士族押寄、大戦争ニ相成り、誠ニ古今珍數^{めずらし}大軍ニテ薩軍勝利ノ由。

明治十年旧四月十三日正九ツ

薩州士族、佐伯旧城下エクリ出しニ相成。

翌十四日正五ツ、尤、かざら沖ニ入津、官軍ノ軍艦入津ニ相成、砲發仕、正四ツ迄三十五はつ大砲。

但、正四ツ半頃、鉄砲打止メ荒網代沖迄コギ出し候。

同日、其俣、佐賀關迄軍艦參り候。

同十四日早天、薩州三百人余、皆々佐伯ヲ出立、水攻迄致、引取候。

同十八日早天、正五ツ時、又々軍艦壹艘かざら沖ニ入津ニ相成候処、其俣ニテ同日夕刻出帆致候。

旧四月廿日朝、正四ツ半、軍艦、塩浜沖ニ入津ニ相成、早速ニはつ大砲はなし。

同日午後、二時、但、正八ツ時、又々軍艦二艘、尤、塩浜沖ニ入津仕、都合三艘也。

明治十年 旧四月廿一日、新五月三十日

白杵町戦争ヨリ日々白杵は野辺ニテ大合戦、官軍薩州共手負人吊死多分追立候。薩兵手病人、日々床木村通行、昼夜止事なく誠ニ騒敷さわがしき時節也。

同旧四月十九日正九ツ時、薩州軍兵三百余人佐伯村ヲ出立ニ相成、其俛、町中工止宿仕為候。

同旧四月二十日、薩州勢白杵旧城下ニ乱入仕、白杵士族敗北、討死数多御座候。ソレヨリ旧四月廿二日、三日、四日、床木村通行ニテ白杵町エ出兵ニ相成候。

明治十年旧四月廿七日

一、切畑村江良出納藤七方ニ薩兵止宿ニ相成、隊長ヨリ村々惣代え御用有之。当村ニケ村之惣代共、廿七日正五ツ時、出頭ニ相成候。

旧五月二日、官軍兵卒床木村エくり出しニ相成、出陣、荒内村外床木村中家毎、兵隊止宿ニ相成、日々出入多分有之候。

松崎寛平住居木場店迄玉キタリ。



旧五月二日正八ツ時

龍王山近辺ニテ砲発、官薩軍共（此節、龍王山ニテ

薩加兵十二人、官兵ヨリ逮捕ニ相成候）尚又、小野

山ノ近辺ニテ砲発ノ事。誠、騷數^{さわがし}時節ニ御座候。

同五月二日正七ツ頃

松崎丈七宅え薩軍兩人入来致、茶ヲ上ケ、尤、備後

士族ト申候事。（所持武器 鉄砲、長刀、劔）

旧五月二日明六ツヨリ

龍王山峯通り長尾峯ニテかがり火を立候事。

薩軍用 旧五月朔日、海崎村中

一、人夫 十人

同 五月二日、海崎村中

一、同 三拾四人

同 五月二日夜

一、同 廿四人

官軍用

旧五月三日

正四ツ時ヨリ官兵当村通行、坂ノ浦ヨリ佐伯村迄数

多通行ノ事。

是ヨリ追々、日々切畑村工進ミ、上野村西運寺本營

ニ相成、是ヨリ追々進ミ、旧五月八日、上直見村郷

ノ原ニテ大戦争。夫ヨリ昼夜共、同十日迄止事なく、

旧五月十日、上野村白山、中野村白谷口ニテ戦争、

当廿五小区内ヨリ人夫五拾名宛、日々出夫ニ相成候。

旧五月十日ヨリ薩勢宇目口迄引取、同十一日、十二

日、官軍勢仁田原村迄押寄候。

旧五月十三日、廿五小区内ヨリワラジ巷万足、官軍

工上納ニ相成候。

夫ヨリ追々宇目辺ニテ数カ所の戦争。追々官軍勝利

ニテ日向路工押寄、日向ニテ数カ所戦争。尚又官兵

勝利ニテ薩州工押寄、鹿兒島ニ押詰メ、薩軍鹿兒島

城山ニテ落去。戦死、自殺ニテ戦持モ亡び候事。

明治十年九月廿四日

弥^{いよいよ}、官軍勝利。是ニテ一応静国ニ相成候事。

此節、西郷隆盛戦死スル。



- 戦争経過地図
- 薩摩主力の進撃路
- その他の薩軍の進撃路
- 薩軍主力の退却路
- その他の薩軍の退却路
- 主な戦場(数字は期間)

明治十一年ヨリ裁判所、旧城内へ普請ノ事。

佐伯裁判所被置候事。

明治十一年五月ヨリ木場油屋設立候也。

明治十一年五月、新六年

皇国一般三府諸縣所々町村共、議長・議員ト申す役員入札ニテ相定り候事。

明治十一年

一、栢場取当り家根替へ。

明治十一年十二月ヨリ

一般諸縣一郡二ヶ所宛、郡役所ヲ設立ニ相成、政

事方取行ひ候事。尤、各小区用務所廃止ニ相成候。

且、大小区ヲ廃止、何郡何村ト相成候。尚又、一村

二一名宛、戸長ヲ被置候事。

明治十一年十二月ヨリ

佐伯ニ銀行設立、金貸渡ノ社相被行候事。

明治十二年一月

南海部郡ニ県會議員四名、新規二人選相成候事。

明治十二年新曆二月八日、旧正月十八日

海崎村中村社、合社ニ相成、小野天満宮ヲ海崎濱村

天満社工合社仕候。中野野々下ヲ富之尾社工合社、片山氏社ヲ濱海崎工合社、百枝村ハ其俣ニ相成候。尤も、此節一般合社ニ相成候、略之。

神官 佐伯村 関 貫一

同 洞掌 山ノ口 千木清友

同 宮□□ 神志那関夫

海崎村戸長 笠村 諭

同 惣代 江藤傳三郎

垣ノ内長二郎

小野村伍長 松崎丈七

明治十一年新四月中旬、旧三月下旬ヨリ

南海部郡霞ヶ浦字代後浦

虎列剌病流行、早三月七日死亡五名。醫員・藤田龍

造、近藤養貞、相詰、巡查立会ニ相成候事。

明治十二年卯旧三月ヨリ

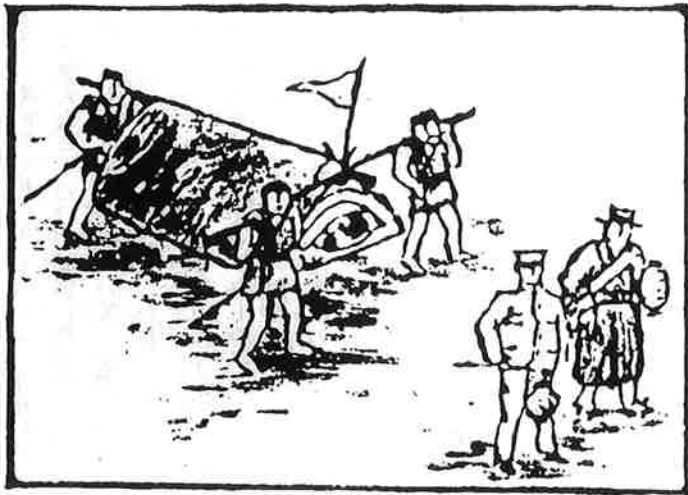
旧佐伯管内、虎列剌病大流行。病症人発病スルヨリ

二時間ニ死ス。誠ニ恐ルベシ。

明治十二年卯旧六月下旬ヨリ大日デリ、旧八月五日ヨリ、ウルライニナル。五日間雨降ル。

諸国共大豊作。但、当村ハ日ヤケニテ不作至之候。

明治十二年旧八月廿日 大洪水也。



動 騷 ラ コ